

ピースボート ヒバクシャ地球一周 証言の航海 おりづるプロジェクト 2018

2018 Global Voyage for a Nuclear-Free World

プロジェクトの趣旨

核兵器の禁止から廃絶へ 市民の力で進めよう

昨年、核兵器のない世界に向けた歴史的な扉が開かれました。7月には国連で核兵器 禁止条約が成立し、これに貢献した核兵器廃絶国際キャンペーン(ICAN)が12月にノー ベル平和賞を受賞しました。市民の力によって、核兵器は違法な兵器となったのです。

しかしそれでも、核保有国はこの現実を受け入れようとしていません。自らは保有しなくて も核兵器への依存を続けている国々も少なくありません。残念ながら日本もその一つです。 朝鮮半島では、核の脅しと戦争の危険が現実のものとなっています。

こうした中、核兵器禁止条約に効力をもたせ、核兵器廃絶を実現するためには、核兵器が 人間や社会に何をもたらすのかを伝え、広めていくことが不可欠です。それは、被爆国日本 の世界的な責任です。過ちを繰り返してはなりません。

ピースボートは過去10年にわたり、被爆者が世界に証言を伝える「おりづるプロジェクト」 を続けてきました。今年はさらに力を入れて、年間を通してプロジェクトを実施します。被爆 者、被爆二世や継承者、そして若い世代の方々を募集します。意欲ある方々のご応募をお 待ちしています。

> 2018年3月 国際交流NGO ピースボート



募集の概要

地球一周の船旅の中で、被爆体験の証言等を通じて核兵器の惨禍の実相を広く世界に伝え、次世代に継承すると共に、核なき世界の実現を呼びかけていくプロジェクトです。2018年は、第98回ピースボート(5月8日~8月21日)と第99回ピースボート(9月1日~12月17日の2つの地球一周の船旅においてこのプロジェクトを実施します。以下の方々を募集します。

■被爆者(若干名)

ご自身の被爆体験を語り、他のプロジェクト参加者と協力して、被爆の実相を日本と世界の人びと に伝えていくことができる方。

※地球一周全行程の参加を原則としますが、地球半周の参加も可能です。半周の場合は、日本から欧州、欧州から日本など、相談のうえ乗船区間を決定します。その場合、航空運賃等、船への合流また船からの離脱と帰国にかかわる費用はご本人負担になります。

■被爆二世および継承者(若干名)

被爆体験や記憶はないが、親からの聞き取りや一定の研修を経て伝承、継承する知識と経験を有する方。年齢は問いません。「継承者」は被爆二世である必要はありません。 ※地球一周全行程参加できる方を募集します。

■ユース特使(若干名)

地球一周の寄港地および船内で、参加被爆者らと協力し、核と平和の問題への関心を高めるために次の活動に従事できる30歳以下の方。具体的な活動としてはレポーターとして本プロジェクトを対外的に発信する活動やイベントを企画し実施する活動などがあります。 ※地球一周全行程参加できる方を募集します。

- 詳しくは、それぞれの募集要項をご覧ください。
- 寄港地プログラムにかかる実費(地球一周を通して約20万円)、ビザ、保険その他諸経費は自己負担 となります
- 乗船前に行われるオリエンテーションや、下船後の報告会などにも参加していただきます。
- プロジェクト参加者は、一定の研修を経た上で「非核特使」あるいは「ユース非核特使」の申請を、それぞれ日本政府に行うものとします。

応募締切

第98回ピースボート 2018年3月30日(金)必着 発表時期 2018年4月上旬 第99回ピースボート 2018年5月25日(金)必着 発表時期 2018年6月中旬

船旅の概要

クルーズ 第98回ピースボート 地球一周の船旅

期 間 2018年5月8日(火)~8月21日(火)(横浜発着106日間)

寄港地 24カ国25寄港地

台湾(基隆) /シンガポール / スリランカ(コロンボ) / ギリシャ(サントリーニ島) / ギリシャ(ピレウス) / イタリア(サルデーニャ島カリアリ) / スペイン(バルセロナ) / ポルトガル(リスボン) / フランス(ル・アーブル) / ロシア(サンクトペテルブルグ) / フィンランド(ヘルシンキ) / スウェーデン(ストックホルム) / デンマーク(コペンハーゲン) / ノルウェー(ベルゲン) / アイスランド(レイキャビク) / カナダ(ハリファックス) / 米国(ニューヨーク) / キューバ(ハバナ) / ケイマン諸島(ジョージタウン) / コロンビア(カルタヘナ) / パナマ(クリストバル) / プンタレナス(コスタリカ) / メキシコ(プエルトバジャルタ) / 米国(シアトル) / 釧路



クルーズ 第99回ピースボート 地球一周の船旅

期 間 2018年9月1日(土)~12月17日(月)(横浜発着108日間)

寄港地 23カ国24寄港地

中国(厦門)/シンガポール/モルディブ(マーレ)/ギリシャ(ピレウス)/ギリシャ(コルフ島)/アルバニア(ドゥラス)/クロアチア(ドブロブニク)/モンテネグロ(コトル)/イタリア(パレルモ)/スペイン(モトリル)/モロッコ(タンジェ)/ポルトガル(ポルト)/スペイン(ア・コルーニャ)/イギリス(リバプール)/アイルランド(ダブリン)/米国(ニューヨーク)/キューバ(ハバナ)/ジャマイカ(モンテゴベイ)/パナマ(クリストバル)/ペルー(カヤオ)/グアテマラ(プケルトケツァル)/メキシコ(マンサニージョ)/ハワイ(ホノルル)



旅行企画・実施 株式会社ジャパングレイス

〒169-0075 新宿区高田馬場 1-32-13 マリンビル 2F Tel 03(5287)3081 Fax 03(5287)3083 観光庁長官登録旅行業第 617 号 (社) 日本旅行業協会正会員 http://www.japangrace.com

寄港地や訪問先での活動

- ■被爆証言会
- ■核兵器禁止条約への署名・批准の呼びかけ
- ■ヒバクシャ国際署名の展開 寄港する各地で被爆証言を行いながら、ICANや平和首長会議と協力して、核兵器禁止 条約に多くの国々が署名・批准することを求めます。あわせて、核兵器廃絶を求める「ヒ バクシャ国際署名」を集めます。

船内での活動

- ■証言会、写真展、ワークショップ
- ■おりづる「ピースガイド」養成講座

「おりづるピースガイド」は、被爆者よりも若い世代で、被爆体験を伝えると 共に「核なき世界」をつくるために活動する意欲と知識、技能を持ち合わせた方々です。船内でその養成講座を実施します。

これまでに船旅に参加した被爆者とユースからのメッセージ



服部道子さん(広島被爆、当時16歳)

私は85歳にして初めてパスポートを取得し証言の航海に参加しました。世界各地で「被爆者と出会って初めて写真や文献では決して理解しえない原爆の威力、被害の実相を知ることが出来た」と言っていただき、あらためて活動の意義を感じました。共に旅する若者たちが新しい感覚で継承に取り組んでいる様子も頼もしいです。今、勇気をもって一緒に声をあげていきましょう!



三宅信雄さん(広島被爆、当時16歳)

私たちの被爆体験は70年前のことですが、核問題は正に今の課題です。被爆者がだんだん亡くなっていく中で、核兵器の非人道性を後世の人に共有してもらうことは急務です。そのために、一つの船の中で寝食を共にしながらのピースボートの旅はまたとない機会です。若い人たちは私たちの話を真剣に受け止め、核兵器の廃絶に向けて一緒になって行動してくれることと信じます。



浜田あゆみさん(高知出身、役者)

私は役者という立場を活かして、被爆者の証言や原爆の被害の実相のほかに、現代に繋がる問題や若者が抱える問題をテーマにして多様な演劇を制作しました。世界をどのように自分たちの望む世界に変えていけるのか真剣に考え、実行することが出来ました。これは、私たちユースの特権であり、最高にやりがいを感じることの出来る活動です。

ピースボート

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 3-13-1-B1 Tel 03(3363)7561 Fax 03(3363)7562 http://ameblo.jp/hibakushaglobal

